

投与開始基準

大腸FOLFIRI(イリノテカンと5FU)

投与可能条件	好中球1500/mm ³ 以上、血小板100000/mm ³ 以上
--------	---

減量・中止基準

大腸FOLFIRI(イリノテカンと5FU)

副作用	程度	処置
白血球減少	3000/mm ³ 未満または急激な減少傾向があるなど骨髄抑制が疑われるとき	イリノテカン投与を中止または延期
好中球減少	G3以上	休薬、次回20%~25%減量を検討
血小板減少	G3以上	休薬、次回20%~25%減量を検討
	100000/mm ³ 未満または急激な減少傾向があるなど骨髄抑制が疑われるとき	イリノテカン投与を中止または延期
消化器系の副作用	予防的治療の施行にもかかわらずG3以上発現した場合	休薬、次回20%減量を検討
肝機能障害	T-Bilが ⁵ 5mg/dL以上	5FUの投与中止
	T-Bilが1.5~3×ULN	イリノテカン休薬、次回20%~25%減量を検討

ラムシルマブ

副作用	程度	処置
高血圧	症候性のG2またはG3以上	降圧薬による治療を行い、血圧がコントロールできるようになるまで休薬する。降圧薬による治療を行ってもコントロールできない場合には、投与を中止する。
蛋白尿	1日尿蛋白量が2g以上、初回発現時	1日尿蛋白量が2g未満に低下するまで休薬し、再開する場合には6mg/kgへ減少する。
	1日尿蛋白量が2g以上、2回目以降の発現時	1日尿蛋白量が2g未満に低下するまで休薬し、再開する場合には5mg/kgへ減少する。
	1日尿蛋白量が3g以上、またはネフローゼ症候群を発現	投与を中止する。
Infusion reaction	G1-2	投与速度を50%減速する。次回以降も初回発現時同様50%減速して投与する。
	G3以上	投与を中止する。再投与不可。
創傷治癒障害	手術前後少なくとも4週間	投与を避ける